

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月6日

上場会社名 株式会社パイオラックス 上場取引所 東
 コード番号 5988 URL <https://www.piolax.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 亨 TEL 045-731-1211
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 52,112 | 3.0 | 7,734 | △3.4 | 8,572 | △1.9 | 6,487 | 2.2 |
| 30年3月期第3四半期 | 50,613 | 6.6 | 8,005 | 3.9 | 8,736 | 4.5 | 6,345 | 4.9 |

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 5,189百万円 (△26.6%) 30年3月期第3四半期 7,066百万円 (433.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 181.13 | — |
| 30年3月期第3四半期 | 177.17 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 101,800 | 90,530 | 87.6 |
| 30年3月期 | 99,140 | 87,154 | 86.5 |

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 89,133百万円 30年3月期 85,751百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 17.00 | — | 28.00 | 45.00 |
| 31年3月期 | — | 22.50 | — | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 22.50 | 45.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期の期末配当には、記念配当5.00円が含まれております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|--------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 67,000 | △1.3 | 9,500 | △7.0 | 10,800 | △1.7 | 7,200 | △11.4 | 201.03 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年3月期3Q | 39,254,100株 | 30年3月期 | 39,254,100株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 3,439,351株 | 30年3月期 | 3,439,330株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年3月期3Q | 35,814,751株 | 30年3月期3Q | 35,814,832株 |

（注）平成30年3月期第2四半期連結会計期間より、取締役向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（当第3四半期連結会計期間95,693株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |
| (参考資料) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、米国の保護主義的な通商政策に基づく貿易摩擦、またアジアにおける地政学リスクの高まり等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外ではアジアなどを中心に好調を維持しており、また国内でも輸出が好調だったこと等により、国内生産台数は前年と比較して増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進した結果、売上高は52,112百万円と、前期比1,498百万円(3.0%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化を推進いたしました。材料費や労務費の高騰による経費負担が増加したこと等により、営業利益は7,734百万円(前期比3.4%減)、経常利益は8,572百万円(前期比1.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,487百万円(前期比2.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

米国をはじめ新興国市場等にグローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は48,749百万円(前期比2.3%増)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進しましたが、主に材料費や労務費の高騰による経費負担が増加したこと等により、営業利益は8,179百万円(前期比4.1%減)となりました。

(医療機器)

拡販を積極的に推進いたしました結果、売上高は3,362百万円(前期比12.9%増)となりました。一方利益面においては、増収効果に加え合理化活動を推進したこと等により、営業利益は266百万円(前期比109.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産合計は、たな卸資産、有形固定資産の増加等により2,659百万円増加し、101,800百万円となりました。

負債合計は、未払法人税等、引当金の減少等により715百万円減少し、11,270百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加等により3,375百万円増加し、90,530百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 27,848 | 28,011 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,425 | 14,578 |
| 電子記録債権 | 1,913 | 2,273 |
| 有価証券 | 1,699 | 1,957 |
| 商品及び製品 | 4,534 | 4,920 |
| 仕掛品 | 1,565 | 1,691 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,837 | 2,061 |
| その他 | 1,650 | 1,741 |
| 貸倒引当金 | △32 | △31 |
| 流動資産合計 | 55,441 | 57,205 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,151 | 7,935 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 7,684 | 7,308 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 2,225 | 2,169 |
| 土地 | 5,183 | 5,586 |
| リース資産(純額) | 36 | 34 |
| 建設仮勘定 | 1,058 | 2,001 |
| 有形固定資産合計 | 24,339 | 25,036 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 1,375 | 1,666 |
| 無形固定資産合計 | 1,375 | 1,666 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 16,100 | 16,278 |
| その他 | 1,883 | 1,612 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 17,984 | 17,891 |
| 固定資産合計 | 43,699 | 44,594 |
| 資産合計 | 99,140 | 101,800 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,566 | 3,395 |
| 未払法人税等 | 978 | 591 |
| 引当金 | 876 | 443 |
| その他 | 3,734 | 4,037 |
| 流動負債合計 | 9,156 | 8,468 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 29 | 57 |
| 退職給付に係る負債 | 225 | 303 |
| 資産除去債務 | 18 | 56 |
| その他 | 2,556 | 2,384 |
| 固定負債合計 | 2,829 | 2,801 |
| 負債合計 | 11,985 | 11,270 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,960 | 2,960 |
| 資本剰余金 | 2,888 | 2,888 |
| 利益剰余金 | 79,982 | 84,656 |
| 自己株式 | △3,029 | △3,029 |
| 株主資本合計 | 82,802 | 87,476 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,902 | 1,199 |
| 繰延ヘッジ損益 | △8 | 5 |
| 為替換算調整勘定 | 1,376 | 732 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △321 | △279 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,948 | 1,657 |
| 非支配株主持分 | 1,402 | 1,396 |
| 純資産合計 | 87,154 | 90,530 |
| 負債純資産合計 | 99,140 | 101,800 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 50,613 | 52,112 |
| 売上原価 | 34,906 | 36,423 |
| 売上総利益 | 15,707 | 15,688 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,702 | 7,953 |
| 営業利益 | 8,005 | 7,734 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 59 | 92 |
| 受取配当金 | 65 | 74 |
| 持分法による投資利益 | 719 | 697 |
| その他 | 103 | 102 |
| 営業外収益合計 | 948 | 967 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 0 |
| デリバティブ評価損 | 28 | — |
| 為替差損 | 107 | 79 |
| 固定資産廃棄損 | 19 | 33 |
| 賃貸収入原価 | 4 | 4 |
| その他 | 48 | 11 |
| 営業外費用合計 | 216 | 129 |
| 経常利益 | 8,736 | 8,572 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 46 | 152 |
| 特別損失合計 | 46 | 152 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,690 | 8,420 |
| 法人税等 | 2,269 | 1,886 |
| 四半期純利益 | 6,420 | 6,534 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 74 | 47 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 6,345 | 6,487 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 6,420 | 6,534 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 270 | △470 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 14 |
| 為替換算調整勘定 | 157 | △645 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 217 | △243 |
| その他の包括利益合計 | 645 | △1,345 |
| 四半期包括利益 | 7,066 | 5,189 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,979 | 5,195 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 86 | △6 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 自動車関連等 | 医療機器 | 合計 |
|-----------------------|--------|-------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 47,636 | 2,977 | 50,613 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 47,636 | 2,977 | 50,613 |
| セグメント利益 | 8,531 | 127 | 8,659 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|--------------|-------|
| 報告セグメント計 | 8,659 |
| 全社費用(注) | △678 |
| セグメント間取引消去 | 29 |
| その他の調整額 | △5 |
| 連結損益計算書の営業利益 | 8,005 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器」セグメントにおいて、当社の連結子会社である(株)パイオラックスメディカルデバイスにおける工場用賃借建物の一部解約に伴い、翌連結会計年度以降の除却対象となっている資産につきまして、その帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては46百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 自動車関連等 | 医療機器 | 合計 |
|-----------------------|--------|-------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 48,749 | 3,362 | 52,112 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 48,749 | 3,362 | 52,112 |
| セグメント利益 | 8,179 | 266 | 8,446 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|--------------|-------|
| 報告セグメント計 | 8,446 |
| 全社費用(注) | △728 |
| セグメント間取引消去 | 20 |
| その他の調整額 | △3 |
| 連結損益計算書の営業利益 | 7,734 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動車関連等」セグメント及び「医療機器」セグメントにおいて、当社及び当社の連結子会社である(株)パイオラックスメディカルデバイスの事業所を移転したことに伴い将来の用途が定まっていない資産につきまして、その帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「自動車関連等」セグメントは143百万円、「医療機器」セグメントは8百万円であります。

(重要な後発事象)

当社は、平成30年12月26日開催の取締役会において中国における販売拠点の設立を決議し、平成31年1月1日に設立いたしました。

1. 子会社設立の理由

中国市場における自動車関連部品の需要の高まりを受け、中国における更なる拡販向上を目指し、営業・開発活動の効率化を図るため、中国各地に展開している販売窓口を統括する新会社を設立いたします。

2. 設立する子会社の概要

| | |
|---------|------------------------------|
| (1)名称 | 上海百奥来仕貿易有限公司(上海パイオラックス) |
| (2)所在地 | 中華人民共和国 上海市 |
| (3)資本金 | 20万米ドル |
| (4)株主構成 | 当社 100% |
| (5)設立 | 平成31年1月1日 |
| (6)代表者 | 総裁兼総経理 鈴木 徹 |
| (7)事業内容 | 自動車部品の販売・開発及び原材料を含んだ輸出入・購入業務 |

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | アジア (百万円) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | 消去 又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 23,562 | 10,218 | 13,825 | 3,007 | 50,613 | — | 50,613 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 4,292 | 148 | 1,212 | 61 | 5,715 | △5,715 | — |
| 計 | 27,854 | 10,367 | 15,037 | 3,069 | 56,329 | △5,715 | 50,613 |
| 営業利益 | 4,295 | 1,354 | 2,083 | 444 | 8,178 | △173 | 8,005 |

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | アジア (百万円) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | 消去 又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 24,573 | 10,092 | 14,573 | 2,872 | 52,112 | — | 52,112 |
| (2)セグメント間の内部売上高 | 4,038 | 208 | 1,103 | 29 | 5,380 | △5,380 | — |
| 計 | 28,612 | 10,301 | 15,677 | 2,902 | 57,493 | △5,380 | 52,112 |
| 営業利益 | 4,270 | 1,178 | 2,134 | 335 | 7,919 | △184 | 7,734 |